

当院において整形外科関連の治療を受けられた方およびそのご家族の方へ

—「整形外科領域における診療報酬明細データ解析：

NDB オープンデータを用いた診療の質と効率性の検討」へご協力をお願い—

研究機関名およびその長の氏名：岡山大学病院 前田 嘉信

研究責任者：岡山大学病院 整形外科 鉄永 智紀

1) 研究の背景および目的

日本では高齢化が進んでおり、整形外科の病気やけがで治療を受ける人は年々増えています。そのため、入院が長くなる人や医療費がかさむ人も増えており、社会全体に大きな影響を与えています。ところが、これらの病気について「全国的にどのように治療されているのか」「医療にどのくらいのお金や期間がかかっているのか」を、全国規模で調べた研究はあまりありません。

厚生労働省は「NDB オープンデータ」という全国の診療データをまとめた情報を公開しています。このデータには、患者さんの名前などは入っておらず、個人が特定されない形になっています。この研究では、その NDB の情報を使って、どんな治療がどのくらい行われているのか、治療によって入院日数や医療費、合併症（治療のあとに起こる別の病気や症状）の発生に違いがあるのかを調べます。

この研究の成果は、今後の診療方針をよりよいものにし、医療の質や安全性を高め、医療費の使い方を工夫するための大切な資料になります。最終的には、国民のみなさんの健康寿命を延ばし、安心して医療を受けられる社会づくりに役立つと考えています。

2) 研究対象者

2014 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 10 日の間に NDB に受診記録のある方約 9000 万人のうち、日本において整形外科関係の治療を受けられた方を研究対象とします。

3) 研究期間

研究機関の長の許可日～2027 年 12 月 31 日

情報の利用開始予定日：研究機関の長の許可日から 1 週間後

4) 研究方法

この研究では、厚生労働省が公開している「NDB オープンデータ」という全国の診療データを使います。私たちは、このデータの中から整形外科の病気やけがで治療を受けた方を調べ、どのような治療が行われているのか、その結果として入院期間や医療費、合併症の起こり方に違いがあるかをまとめます。この研究は、すでにあるデータを使うだけで、新しく患者さんから検査や治療の協力をお願いすることはありません。そのため、患者さんに追加の負担や危険が生じることはありません。

5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、NDB から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報はありません。

- ・研究対象者の基本情報：年齢、性別、診断名、出身地

- ・画像検査（単純 X 線、CT、MRI）、血液検査、尿検査
- ・診療行為（患者数、入院・外来診療費、検査、手術）、入院期間、合併症発生率、追加治療の有無、再入院率、処方薬、特定保健医療材料、特定健診検査、特定健診質問票

7) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間、岡山大学病院整形外科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

9) 二次利用

この研究で得られた情報を将来別の研究に用いる可能性はありません。

10) 研究資金と利益相反

この研究は特段の費用を要しないため特定の研究資金は用いません。

この研究全体の利益相反はありませんが、利益相反の申告が必要な研究者等においては、その点を利益相反マネジメント委員会に申告し、その審査と承認を得ております。

11) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究で得られた結果は学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

<問い合わせ・研究への利用を拒否する場合の連絡先>

岡山大学病院 整形外科

氏名：鉄永智紀

電話：086-235-7273（平日：9 時 00 分～17 時 00 分）